

ごみ 30%減量を目指して 「チーム・もってえねんジャー」が啓発物品を設置



ステッカーを取り付ける隊員

4月28日、ごみの減量化に取り組むため市役所職員で結成された「チーム・もってえねんジャー」が本年度最初の会議を行いました。

この日は、事務局から資源化の実績などについて説明を受けた後、キャッチフレーズ「ごみダイエット瀬戸内」と書かれた懸垂幕を設置したり、公用車にステッカーを取り付けたりしました。

ごみの自区内処理を実現するためには、排出量を30%減量する必要があります。市民の皆さんのご協力をお願いします。

世代を越えて交通安全学習 福田保育園で「高齢者と子どもの安全教室」を開催



大榎会長が演じる暴走族で教室は笑いの渦に！

4月15日、福田保育園で、園児や高齢者団体「ふれあいサロンひまわり」の皆さんが参加して、「高齢者と子どもの交通安全教室」が開催されました。

教室では、人形劇やゲームで道路の横断について、確認方法などを学習。高齢者と園児が手をつないで横断歩道を渡る練習では、急に変わる信号の札に思わず飛び出すペアがいたり、瀬戸内市交通安全母の会のおおのしときわ大榎常磐会長の演じる暴走族が登場したりと、終始笑いに包まれた楽しい教室となりました。

新たな備前焼の魅力 瀬戸内想彫会が作品展を開催



さまざまな形の備前焼に来場者は興味津々

3月19日から29日まで「道の駅」黒井山グリーンパーク ゆうゆう交流館（邑久町虫明）で、彫刻と陶芸の魅力を併せ持つ「陶彫」に取り組む瀬戸内想彫会（木村玉舟代表）の作品展が開催されました。

会場には、会員の皆さんが作った器、干支など約300点の力作が展示。また、木村代表は、「ねずみ金彩」と呼ばれる技法を使ったプラチナや金色などに発色したウサギを出展し、訪れた人は、しばらくの間、足を止めて見入っていました。



まちの 話題



今月の表紙



4月25日に長船町福岡市場小路一帯で、備前福岡の大手が開催されました。

中世福岡の市を再現しようと始められ、今年で5年目。地元の特産品などが大集合し、周辺はたくさんのお客で賑わいました。

10月31日（日）には、国民文化祭の一環として開催されます。皆さん、ぜひ足を運んでみてください。

人形に感謝を込めて 静円寺地藏院で人形供養



たくさん子どもたちに引かれる花車



炎に包まれた人形に祈りを捧げる参列者

3月28日に静円寺地藏院（邑久町本庄）で人形供養が行われました。船に乗せたひな人形を海に流して供養する「ひな流しの神事」で知られる淡嶋神社（和歌山市）の社が境内にあることから始められた行事で、今年で24回目を迎えました。

この日は、全国から寄せられたひな人形やぬいぐるみなど約3千体の人形を供養。たくさんの人が人形との別れを惜しんで同院を訪れました。

静円寺本堂から地元の子もたちが人形の乗った花車を引いて同院へ入り、「お人形さん、ありがとう」と願い文を朗読。その後、読経の中、人形が並べられた護摩壇に火がつけられると、参列者たちは手を合わせ、人形への感謝の祈りを捧げていました。